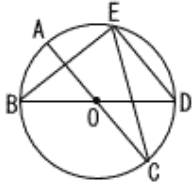
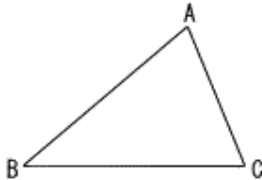






印刷して、紙の上でやってネ！

【 A 】

1	(1)	😊 $2-5+6$	5	関数 $y=-3x^2$ について、 x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域を求めなさい。	
	(2)	$\frac{2x-y}{5} - \frac{x+y}{3}$			
	(3)	$6a^2 \div 2ab \times (-4a^2b)$	6		右の図のように、点 A, B, C, D, E は円 O の周上にあり、線分 AC と線分 BD は円 O の直径、 $AC \parallel ED$ 、 $\angle EBD = 40^\circ$ である。このとき、 $\angle ACE$ の大きさは何度か、求めなさい。 
	(4)	$\sqrt{6} \times \sqrt{2} + \frac{3}{\sqrt{3}}$			
2	次の文字式のうち、 n がどんな自然数であっても 5 の倍数を表す文字式はどれか。次の A ~ E からすべて選び、その記号を書きなさい。 ア $n+5$ イ $\frac{1}{5}n$ ウ $5n$ エ $5(n+2)$	7	1 枚の硬貨を投げ、表が出たら 2 点、裏が出たら 1 点を得点とする。この硬貨を 3 回続けて投げ、1 回目の得点を a 、2 回目の得点を b 、3 回目の得点を c とするとき、 $c=ab$ となる確率を求めなさい。ただし、硬貨は表と裏のどちらが出ることも同様に確からしいとする。		
3	次の連立方程式を解きなさい。 $\begin{cases} 4x+5y=15 \\ 0.3x+0.5y=1 \end{cases}$	8	下の図のような、三角形 ABC がある。次の【条件】①、②をともに満たす点 P を、定規とコンパスを使い、作図によって求めなさい。ただし、定規は直線をひくときに使い、長さを測ったり角度を利用したりしないこととする。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。 【条件】 ① $AP=BP$ である。 ② $\angle ABP = \angle CBP$ である。 		
4	次の方程式を解きなさい。 $(x+5)^2 = 3(x+7)$				

【 B 】

1	(1)	 $-3+(-7)$	4	<p>yはxに比例し,$x=3$のとき$y=-12$である。$y=-8$のときのxの値を求めなさい。</p>
	(2)	 $4+(-3)^2 \times 2$		
	(3)	$5ab^2 \times 12b \div 4ab$	5	
	(4)	$\frac{10}{\sqrt{5}} - \sqrt{45}$		
2	<p>等式 $c = \frac{a-5b}{4}$ を、aについて解きなさい。</p>		6	<p>1から6までの目が出る2つのさいころA,Bを同時に投げるとき、さいころAの出た目の数をa、さいころBの出た目の数をbとする。このとき、$a+b \geq 8$となる確率を求めなさい。ただし、さいころはどの目が出ることも同様に確からしいとする。</p>
3	<p>次の式を因数分解しなさい。</p> $(x+4)(x-7)+18$			

